リハケア
合同研究大会

30日から苫小牧市で開催

覧古考新をテーマに多彩な企画

リハビリテーションケア合同研究大会 苫小牧2022（大会長・橋本洋一苫小牧東病院理事長）が、30日から2日間、苫小牧市内のグランドホテルニュー王子、苫小牧市民会館、苫小牧市文化会館で開催される。オンラインとのハイブリッド形式で、特別講演、教育講演のほか、大会企画では、シルバーリハビリ体操、音楽療法、災害リハ、緩和リハなど、幅広い内容となっている。

大会は、日本リハビリテーション病院・施設協会、回復期リハビリテーション病棟協会、全国デイ・ケア協会、日本訪問リハビリテーション協会、全国地域リハビリテーション研究会、全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会の6団体が合同で開催する形だ。

大会長講演では、橋本会長が大会のテーマである覧古考新を取り上げ、古い事柄から学び、新たなリハケアを描こうと訴える。

基調講演は2題。小倉リハビリテーション病院の浜村明徳氏が「地域包括ケアを支える地域リハビリテーションの過去、現在、未来～地域共生社会の実現に向けて」、アマノリハビリテーション病院の天野純子氏が「地域で新型コロナウイルス感染症を診る！～広島県オンライン診療センターの試み」について紹介する。

大会企画シンポジウムは、「覧古考新 広域における災害リハ支援を考える（北海道での支援体制）」「地域で支える緩和医療」「高次脳機能障害者の自動車運転支援の実践」「覧古考新 コメディカルの育成（これからの人材育成）」「超高齢化社会を支える地域に根ざした認知症ケア連携」の5つのテーマを用意。大学、病院、訪問看護ステーション、自動車教習所など、さまざまなフィールド・職種から、課題や展望等が報告される。

団体企画シンポジウムは以下の通り。

▼回復期リハビリテーション病棟協会＝医療・介護現場での実践に活かす「臨床倫理」▼日本リハビリテーション病院・施設協会＝調査・検証委員会 調査活動報告▼日本リハビリテーション病院・施設協会＝病気・障がいと仕事の両立支援▼全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会＝地域共生社会へのシーズ～地域リハビリテーション支援体制におけるアクションプランとアウトリーチの実例集▼回復期リハビリテーション病棟協会＝第3回セラピストマネジャーミーティング▼全国デイ・ケア協会＝パネルディスカッション「LIFEの現状と未来」▼全国地域リハビリテーション研究会＝地域共生社会に向けて～専門職の可能性▼日本訪問リハビリテーション協会＝訪問リハビリテーションについて語り合おう～今と昔、それから今後について全国各地から▼日本リハビリテーション病院・施設協会＝ライフスタイルを支援する地域リハビリテーション～地域リハ塾生の実践報告2022